



すてきな
みんなの
えがおが



大阪市立墨江幼稚園

2026.1 No.9

4歳児 ばらぐみ

あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、

いよいよ3学期がスタートしました。久しぶりに登園してきた子どもたちは、少し照れくさそうにしながらも、友だちや保育者の顔を見ると自然と笑顔がこぼれ、クラスにまたにぎやかな声が戻ってきました。一人ひとりが安心して園生活のリズムを取り戻しながら、3学期を歩み始めています。

あそびと生活の中での育ち

今、クラスでは、コマ回しを楽しんでいます。冬休みの間に回せるようになった友だちに刺激を受け、最初はうまく回せなかった子ども、何度も挑戦する中で少しずつコツをつかみ、「見てて!」「回った!」と喜びを分かち合う姿が少しずつ見られています。友だちの姿に刺激を受けながら、意欲的に取り組む姿が育っています😊 また、日々の生活の中では、今までフォークやスプーンを使ってご飯を食べていた子どもたちも、箸を使って食べることに挑戦しています。上手くつかめずに苦戦することもあります、「『いただきます』から5分間はがんばってみよう〜」とスタートし、今は少し伸ばして10分程度はお箸時間にしています。そのまま食べ終えるまでやってみようとする姿や、「できた!」という小さな成功体験を大切にしながら、少しずつ自信につながっています。生活発表会後は、縄遊びや、ハンカチ結びにも遊びの中で挑戦していきたいと思っています😊



ばら組、最終学期に入りました💎

3学期がスタートし、ばら組としての一年の集大成の時期に入りました。これまでの遊びや生活の積み重ねの中で、友だちと一緒に考えたり、気持ちを伝え合ったり、自分なりに「やってみよう」と挑戦する姿がたくさん見られるようになりました。生活発表会に向けては、絵本『どうぞのいす』の世界を楽しむところから、表現遊びへ、そして劇遊びへと少しずつ活動をつなげてきました。動物になりきって体を動かしたり、言葉のやり取りを楽しんだりする中で、子どもたちは自

つけ、表現の引き出しを広げています。劇遊びでは、友だちと気持ちを合わせたり、役になりきる楽しさを味わったりしながら、試したり考えたりする姿がたくさん見られています。「こうしてみたい」「こんな言い方はどうかな」と、子ども同士でもやり取りをする姿からは、表現することへの自信も感じられるようになりました。発表会予行では、

体調不良によりクラスの半分の子どものが欠席、休み明けの日曜日だったという事もあり、いつもと違う雰囲気緊張!! そんな中でもこれまで楽しんできた表現を一生懸命に出そうとする姿が見られました。本番に向けては、子どもたち一人ひとりの表現する姿を大切に、その子なりの表現をしっかり認めながら、自信を持って楽しむ姿を引き出していきたいと思っています。劇を完成させることが目的ではなく、その時々の子どもの思いや表現を大切にしながら関わっていきたいと思います。本番当日も、これまで積み重ねてきた遊びや表現を土台に、一人ひとりが「楽しい」「やってみたい」と感じながら舞台に立てることを何より大切にしていきたいと思っています。子どもたちの今の姿を、温かく見守っていただけたら嬉しいです。

